

令和4年度オオワシ傷病個体收容結果

表1 平成12～令和4年度オオワシ傷病個体收容結果（令和5年3月31日時点）

年度	(件)											(羽)			うち 鳥フル
	交通 事故	列車 事故	風車 衝突	不明 衝突	感電 事故	鉛中毒	鉛暴露	落水	栄養 不良	その他	不明	死体	生体	收容個 体数	
平成12	1					12				1	4	9	9	18	
13				1	2	7			1	1	4	9	7	16	
14		1		4	1	5		2		1	2	11	5	16	
15				3	2	9			2	1	2	12	7	19	
16	4			1	5	8			3	2	3	14	10	24	
17	3			1	4	1				2		9	2	11	
18	3	3			2	2	1		4	4	1	9	8	17	
19		3		2		8			2			7	8	15	
20		1			2	7					7	14	2	16	
21	3		1	5		1		1			2	5	8	13	
22	2	2			2	2				1		8	1	9	
23	2				1	5		1			2	6	5	11	
24	4	1			1	2	1	1	1	1	1	6	6	12	
25	2	4		3	4	2		1	1	1	6	10	14	24	
26	1			2	2	3			2		3	7	6	13	
27	2	7		1	1	2	4	2		1	2	12	10	22	
28	3	5		1	3	3	1		1	1	6	16	8	24	
29		11	1	4	4	1	1	1	2	2	2	18	9	27	
30	4	9	1		1	2	2	1	3	2	8	26	6	32	
令和元	2	12		1	1					2	7	21	4	25	
2	2	10		1	1	2		1	1	2	5	14	10	24	
3	1	12			2	1			1	3	9	25	4	29	2
4	1	6	1		2					1	10	18	3	21	1
計	40	87	4	30	43	85	10	11	24	29	86	286	152	438	3

※1 表中のデータは原因分析のためのデータが比較的そろっている平成12年度からとした。

※2 各原因別の收容件数の合計が收容個体数を上回る年があるが、これは複数の原因が考えられる收容個体があることによる。

※3 「鉛中毒」は血中鉛濃度 0.6ppm以上又は肝臓中鉛濃度 2ppm以上、「鉛暴露」は血中鉛濃度 0.1以上～0.6ppm未満又は肝臓中鉛濃度 0.2以上～2ppm未満であったものとなる。

※4 「その他」には、油汚染、羅網、銃撃、溺死等が含まれる。

※5 「鳥フル」は收容後に遺伝子検査を行い、高病原性鳥インフルエンザウイルスに感染している事が確認されたものを示す。

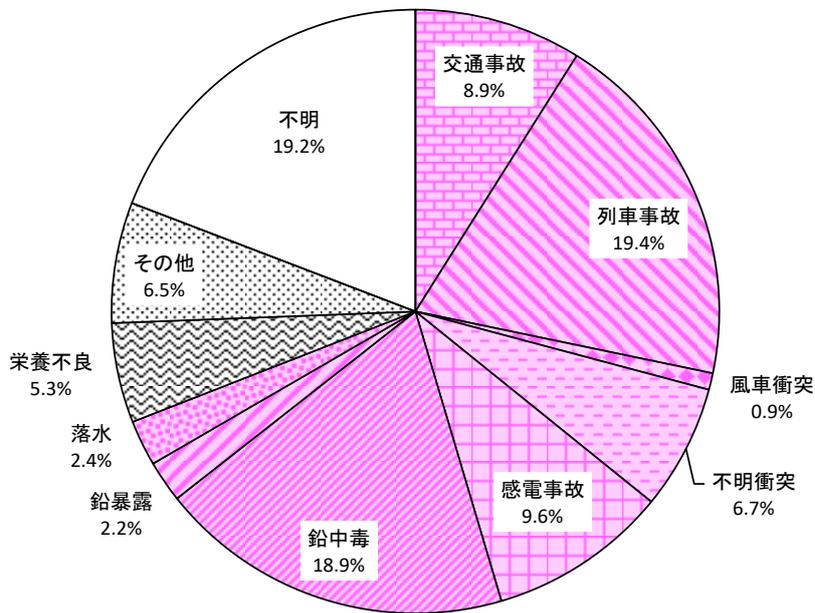


図1 オオワシ收容原因別割合 (平成12-令和4年度)

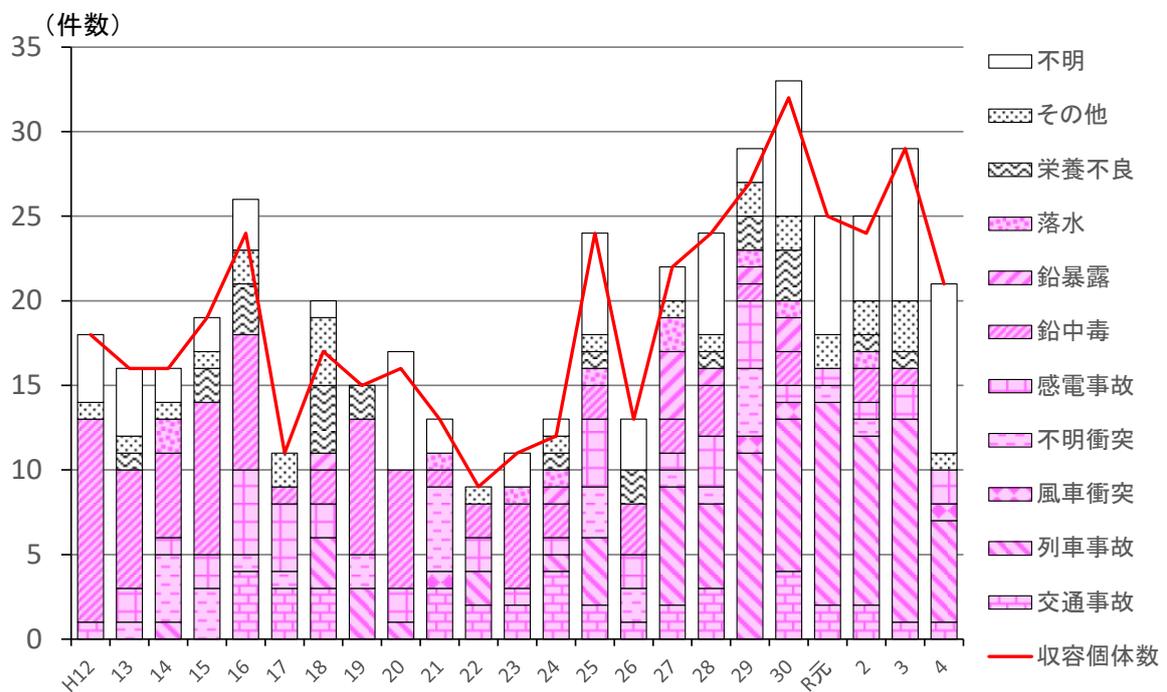


図2 オオワシ年度別收容件数 (平成12-令和4年度)

※各原因別の收容件数の合計が收容个体数を上回る年があるが、これは複数の原因が考えられる收容个体があることによる。